

病院における吹付けアスベスト（石綿）等 使用実態調査に係るフォローアップ調査について



厚生労働省は、アスベスト被害が社会問題化していることに鑑み、患者又は職員等の安全対策に万全を期すために、病院における吹付けアスベスト等使用実態調査を実施し、この度、平成22年3月17日にフォローアップ調査の進捗状況をまとめ、報告しました。

概要は、以下の通りです。

1) 調査対象建材

平成8年度以前に竣工(改修工事を含む)した建築物に使用されている吹付けアスベスト、吹付けロックウール、吹付けひる石、折板裏打ちアスベスト断熱材等

2) 調査結果

調査回答病院数:7,426 施設

吹付けアスベスト等の使用場所あり:1,538 施設(785 施設、措置済み)

飛散により、ばく露の恐れあり:53 施設

ばく露の恐れのある施設の現状(措置予定)・・・日常利用あり:2 施設、なし:38 施設

分析調査中:121 施設

3) 今後の対応

吹付けアスベスト等の粉じんの飛散により、ばく露のおそれのある場所を有する病院については、速やかに除去等法令に基づき適切な措置を講じるよう指導するとともに、措置を講じるまでの間は立入禁止、管理上立ち入る際には、防塵マスクの着用義務化等ばく露を回避するための措置の徹底、さらに、分析調査中の病院については早期に調査が終了するよう引き続き指導。

当社は、吹付け材等のアスベスト分析に短納期での対応が可能です。疑問点やお困りのことがありましたらお気軽にお問い合わせください。

資料 2010年3月17日付 厚生労働省 HP

無機分析箇所 守屋貴志